

①平成19年度詳細追跡調査において新たに把握した主な上市事例(5/6)

①-9. 実用接客ロボットシステムの開発(三菱重工業)

NEDOの技術成果

接客ロボットとして、**万博会場で6ヶ月間にわたって技術を実証。**

安全性や耐久性などを含めて、**実用性を確認。**



実用化の状況

平成17年に個人向け販売を開始したが市場が未成熟。

現在は、**受付業務用途として、法人向けにレンタル。**



受付業務用途への展開(法人向けレンタル)

期待される経済的・社会的波及効果

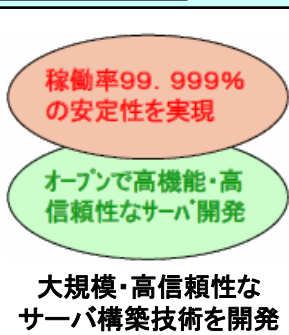
ロボットや高性能サーバー、家電などの高機能・システム化により、関係する市場が拡大。人々の生活を、より便利、快適に。

「次世代ロボット実用化プロジェクト(H16~H17)」(写真提供:三菱重工業株式会社)

①-10. ハイエンドLinuxサーバーとして世界一のパフォーマンスを実現(富士通)

NEDOの技術成果

ハイエンドLinuxサーバとして、**世界一のパフォーマンス**を誇る。



実用化の状況

大規模・高信頼サーバを高信頼な汎用CPUとオープンソースのLinuxで構築。

メインフレームからオープン系へ世代交代が進む。**平成21年稼働予定の東証新システムに採用予定。**



世界最高水準の基幹Linuxサーバー

産業技術競争力の強化、利便性の向上

「高機能・高信頼性サーバ半導体チップ(Linuxサーバー用半導体チップ開発)(H15~H17)」(写真提供:富士通株式会社)